

平成27年度

岡山県立博物館協議会

第1回 開催要項

1 開会

2 議題

(1) 平成27年度事業について

- ア 展覧会
- イ 教育普及事業
- ウ 博物館魅力アップ事業
- エ 入館状況

(2) 平成28年度事業（案）について

- ア 展覧会

(3) 長期展覧会計画（案）について

(4) 第2次岡山県立博物館中期目標の達成状況について（平成26年度）

(5) その他

- ・来館者アンケート結果について

3 閉会

日 時：平成27年9月1日（火） 14：00～16：00

会 場：岡山県立博物館 「講堂」

岡山県立博物館 平成27年度年間展示計画

	第1室 (考古)	第2室 (歴史・美術)	第3室 (通史・特別陳列ほか)	第4室 (備前焼・刀剣・民俗)	オープン スペース	2階ホール
(3/24)～4/19 春季展(2) 27(24)日	古代吉備の世界 —岡山県内出土の考古資料—	桜咲く～花見の歴史～ 岡山の宗教美術～観音信仰と巡礼～ 岡山の荘園、長州征討から戊辰戦争へ	岡山の歴史早わかりコーナー(通史) ☆特別陳列「奇蹟資料紹介 奇傑 古川古松軒の真筆資料」	おかやまのやきもの 備前・備中・備後の刀剣	ちやぶ台の ある風景・ 桃の節句	
4/22～5/31 春季展(3) 40(34)日	古代吉備の世界 —岡山県内出土の考古資料—	岡山の宗教美術～岡山の浄土信仰～ 岡山の書 大坂の陣と池田氏	岡山の歴史早わかりコーナー(通史) ☆特別陳列「岡山を訪れた勤王の志士 ～久坂玄瑞、桂小五郎、坂本龍馬の足跡～」	備前刀の歴史(赤羽刀) 備前焼の歴史 郷原漆器 色々威甲冑	ちやぶ台の ある風景 春の行楽 端午の節句	石谷家文書 パネル展示
6/2～7/12 夏季展(1) 41(36)日	古代吉備の世界 —岡山県内出土の考古資料—	岡山の宗教美術～神と仏～ 岡山の書 近世の医学書	岡山の歴史早わかりコーナー(通史) ☆特別陳列「文人画の世界 ～浦上玉堂から黒田綾山まで」	備前刀の歴史(赤羽刀) 備前焼の歴史 郷原漆器	ちやぶ台の ある風景 ちいちゃんのかげおくり	石谷家文書 パネル展示
7/16～9/13 企画展・夏季展(2) 60(52)日	カルチャーゾーン30周年記念 ☆企画展「岡山カルチャーゾーンの魅力」		岡山の歴史早わかりコーナー(通史) 後菜園の名片	備前刀の歴史(戦国刀) 備前焼の歴史 錦壳莖	ちやぶ台の ある風景 ちいちゃんのかげおくり	カルチャーゾーン の展示
9/18～11/8 秋季展(1) 52(45)日	☆特別展「破格——桃山備前——」		岡山の歴史早わかりコーナー(通史) 伊能忠敬と歩いた人 窪田浅五郎	備前刀の歴史(戦国刀) 備前焼の歴史 備中神楽面	ちやぶ台の ある風景	
11/13～12/23 特別展(2) 41(35)日			☆特別展「発掘された日本列島2015—新発見考古速報—」			ビデオコーナー
1/1～1/17 冬季展(1) 17(15)日	古代吉備の世界 —岡山県内出土の考古資料—	岡山の宗教美術～釈迦の美術～ 岡山の荘園 池田光政と綱政	岡山の歴史早わかりコーナー(通史) 十二支屏風	備前刀の歴史(名品選) 細工物(備前焼) ☆特別陳列「国宝 赤韋威鎧」	ちやぶ台の ある風景	
1/22～2/21 冬季展(2) 32(28)日	古代吉備の世界 —岡山県内出土の考古資料—	岡山県・鳥取県交流事業 ☆交流展「鳥取藩池田家32万石」	岡山の歴史早わかりコーナー(通史) 農村の絵図と古文書	備前刀の歴史(名品選) 細工物(備前焼) 着物	ちやぶ台の ある風景	
2/25～3/21 春季展(1) 25(22)日	古代吉備の世界 —岡山県内出土の考古資料—	岡山の宗教美術～密教信仰と図像～ 花台戦図屏風 ☆特別陳列「戦国武将の新出史料」	岡山の歴史早わかりコーナー(通史) ☆特別陳列「人々の暮らしと占い ～大国家文書の世界～」	備前刀の歴史(新刀・新々刀) 備前焼の歴史	ちやぶ台の ある風景	
3/23～(4/18) 春季展(2) 27(23)日	古代吉備の世界 —岡山県内出土の考古資料—	岡山の宗教美術～熊野信仰と修験道～ ☆特別陳列「戦国武将の新出史料」	岡山の歴史早わかりコーナー(通史) 人々の暮らしと占い ～大国家文書の世界～	備前刀の歴史(新刀・新々刀) 備前焼の歴史	ちやぶ台の ある風景	

平成27年度事業計画

ア 展覧会

事業名	岡山カルチャーゾーン30周年記念事業 企画展「岡山カルチャーゾーンの魅力」
期間	平成27年7月16日(木)～9月13日(日)
趣旨	「岡山カルチャーゾーン」の誕生30周年を迎えることから、ゾーン内にあつて資料・作品を所蔵する施設がそれぞれ名品を出品し、岡山カルチャーゾーンの魅力を紹介するとともに、岡山の歴史と文化のすばらしさを再発見する機会とする。
主要展示資料	大徳寺 竹久夢二筆 夢二郷土美術館 国宝 太刀銘備前国長船住左近将監長光造 林原美術館 重要文化財 老子図牧谿筆 13世紀 南宋時代末～元時代初 岡山県立美術館 ドゥアムテフ神像 前664-前332年頃 岡山市立オリエント美術館
関連行事等	①記念講演会 倉地克直氏(岡山大学特命教授) ②名品紹介トークバトル 4回 ③夏休みワークショップ 4コース ④かるちゃーさんぽ～テーマで巡るカルチャーゾーン回遊ツアー～ 4コース ⑤博物館クイズラリー 随時 ⑥学芸員による展示解説 3回
備考	入館料 大人250円、65歳以上120円、高校生以下無料 (2室使用)

事業名	特別展「破格——桃山備前——」
期間	平成27年9月18日(金)～11月8日(日)
趣旨	備前焼は、日本人の美意識について考える上でも興味深い対象とされ、海外からの関心も強い。中でも、安土・桃山時代に制作された「茶湯」に関わる作品(花入、水指など)への注目度が高い。現在、安土・桃山時代に制作された備前焼の名品の多くは岡山県外にあることが多く、実際に見る機会は少ない。このたびの展覧会では、そうした名品を一堂に集めて展示を行い、岡山県が誇るやきものである備前焼の魅力を再確認する。
主要展示資料	備前焼 花入 銘「太郎庵」 安土・桃山時代 備前焼 花入 銘「大芋虫」 安土・桃山時代 織部焼 茶碗 銘「柘垣」 安土・桃山時代
関連行事等	①記念講演会 講師:上田宗篁氏(茶道植田宗箇流 若宗匠) ②特別展示解説 講師:伊勢崎淳氏(重用無形文化財保持者) ③「只今」トークセッション 協同組合岡山県備前焼陶友会青年部 ④呈茶 「只今」の写しを使用 ⑤学芸員による展示解説 期間中の土曜日
備考	入館料 大人450円、65歳以上220円、高校生100円、小人80円、5歳未満無料 (2室使用)

事業名	特別展「発掘された日本列島2015」
期間	平成27年11月13日(金)～12月23日(日)
趣旨	全国では埋蔵文化財の発掘調査が毎年約8000件近く実施されている。本展は、近年とくに注目された発掘成果やその出土品を紹介する全国巡回展である。国民に歴史や文化財への理解と関心を深めてもらうことを目的に平成7年度から毎年開催しており、平成27年度で21回目となる。あわせて、岡山会場の地域展として「邪馬台国と吉備」、および「大地からの便り2015」を開催し、岡山県内の近年の発掘成果を紹介する。
主要展示資料	栃木県下野市 甲塚古墳 馬形埴輪 岩手県滝沢市 けやきの平団地遺跡 人体文付縄文土器
関連行事等	①記念講演会 第1回 講師: 瀬田佳男氏(文化庁主任文化財調査官) 第2回 講師: 福永伸哉氏(大阪大学大学院教授) ②「大地からの便り2015」報告会 報告者 岡山県古代吉備文化財センター職員ほか ③大学生ボランティア展示ガイド 5日間 ④ワークショップ「つくろう★マイはにわ」 ⑤学芸員による展示解説 5回
備考	入館料 大人650円、65歳以上320円、高校生200円、小人180円、5歳未満無料(4室使用)

事業名	交流展 岡山・鳥取文化交流事業「鳥取藩池田家32万石」
期間	平成28年1月21日(木)～2月21日(日)
趣旨	寛永9(1632)年に備前国から因幡・伯耆国へ入封した池田光仲を祖とする、鳥取藩池田家32万石を取り上げる。慶長8(1603)年から因幡・伯耆国へ移動するまでの備前国内のことを知ることのできる史料も含め、現在の岡山県と鳥取県との接点を紹介する。
主要展示資料	池田恒興画像 江戸時代 鳥取県立博物館蔵 池田輝政画像 江戸時代 林原美術館蔵 池田利隆画像 江戸時代 林原美術館蔵 尾州小牧長久手合戦図 江戸時代 鳥取県立博物館蔵
関連行事等	①記念講演会 講師: 池内 敏氏(名古屋大学大学院教授) ②記念講演会 講師: 斎藤夏来氏(岡山大学大学院准教授) ③ボランティアによる展示ガイド 3日間 ④学芸員による展示解説 3日間
備考	入館料 大人250円、65歳以上120円、高校生以下無料(1室使用)

イ 教育普及事業

事業名	「ジュニア学芸員講座」
期間	平成27年8月4日(火)～6日(木)
概要等	<p>県内の中学生及び高校生が、館内で資料や機器の取り扱い等、学芸員の基礎的な業務を学び体験し、発掘現場でも実地体験をすることなどで、岡山の歴史と文化に関する理解を深めるとともに、将来的に学芸業務を仕事の選択肢としても考える機会を提供する。(3日間開講)</p> <p>◇夏期休業中の3日間、講義・実務・研修を通じ認定証(館長名)を発行する。</p> <p>1日目 開講式、マナー学習、博物館学の研修等〈軸物資料の巻き方、刀剣の扱い方等〉</p> <p>2日目 他館・現地等訪問〈鬼ノ城見学、他館での資料借用等〉</p> <p>3日目 展示の演習、来館者への対応、機器の取扱い(資料の写真撮影)等、閉校式〈認定証〉</p> <p>※参加者 高校生 7名 中学生 13名 計20名</p>

事業名	館内授業・出前授業
期間	平成27年4月～平成28年3月
概要等	<p>県内の小中高高校生等が、館内で実際に資料に触れたり、展示を見学する。また、学芸員が学校や古墳等の史跡へ出向き授業を行う。</p> <p>①歴史:古備の古墳の世界 ②民俗:体験!昔の暮らし ③工芸:備前焼を知ろう 等</p>

事業名	吉備の国ジュニア歴史スクール
期間	平成27年6月～12月
概要等	<p>県内の歴史と文化に関わる小学生向けテーマを設定し、第1日は、バスで文化財の現地見学を行い、第2日は、県立博物館での実物資料を用いた授業や展示室等の見学などにより、文化財や博物館に親しむ機会を提供する。第3日は、各学校で学習の成果をまとめ博物館と学校との連携を図る。</p> <p>岡山の巨大古墳体験コース」(同じコースで2回実施)</p> <p><学校>玉野市立 日比小学校、第二日比小学校 合計50人</p> <p><学校>吉備中央町立円城小学校、吉川小学校、豊野小学校、大和小学校 上竹荘小学校 合計52人</p>

事業名	博物館講座
期間	平成27年6月～10月
概要等	<p>当館職員が講師となり学習する「スタンダードコース」と、第一線で活躍している研究者の講義により学習する「スペシャルコース」の2講座を実施する。(生涯学習大学連携講座)</p> <p>①スタンダードコース 4日間4講座 (1講座2時間、同じ内容を火曜日・木曜日の2回開催) 定員 各曜日70名、受講料1,000円 ※受講者数 113名 内容:山田方谷の時代、岡山の平安仏～その時代と変遷から 他</p> <p>②スペシャルコース 4日間4講座(1講座2時間)、定員 120名、受講料2,000円 内容:瀬戸内の神像と獅子狛犬、江戸時代の本屋と読書他 ※受講者数 84名</p>

事業名	中学生職場体験
期間	平成27年5月～平成28年2月
概要等	中学2年生を対象にした職場体験の受け入れ ・学芸業務や受付・看視等の仕事を体験

事業名	博物館実習
期間	平成27年8月18日、19日、20日、23日、30日
概要等	博物館法に規定する学芸員資格の習得を希望する学生に対して、博物館において実習の機会を提供し、人材育成に資するとともに博物館活動の普及を図る。 ①講義実習(3日間) 学芸員の使命と実務、考古・文書・工芸資料等の特性と取扱い 等 ②支援実習(2日間) 夏休みワークショップ教室(粘土板ペンダント) かるちゃーさんぽ「隠されたテーマを探れ!コース」 ③実習受講者数 14名

ウ 博物館魅力アップ事業 (地方創生交付金事業)

事業名	広報スタッフの配置
期間	平成27年4月～平成28年3月
概要等	歴史・文化や社会教育に関心のある人材を広報スタッフとして配置し、積極的な情報発信を行うことで、情報発信の迅速性を高めるとともに量及び質の向上を図る。 ①facebook、twitterでの情報発信 ②ホームページの更新 ③報道機関等への広報

事業名	体験試着用甲冑の整備
期間	平成27年6月～9月
概要等	来館者の体験活動の充実を図り、博物館の魅力を向上させるため、体験試着用の甲冑を整備し、試着イベント等の開催により来館者の利用に供する。 ①成人用甲冑3 ②成人用具足2 ③子供用甲冑4 ④陣羽織3他

事業名	複製資料の作成
期間	平成27年6月～12月
概要等	岡山の歴史を紹介する際に使用する代表的な博物館資料について、資料の劣化を防ぐとともに常設展示を可能とするため、複製資料を作成する。 主な資料：宇喜多能家画像、閑谷學図、宇田川玄随肖像及び識語(大槻玄沢筆)他

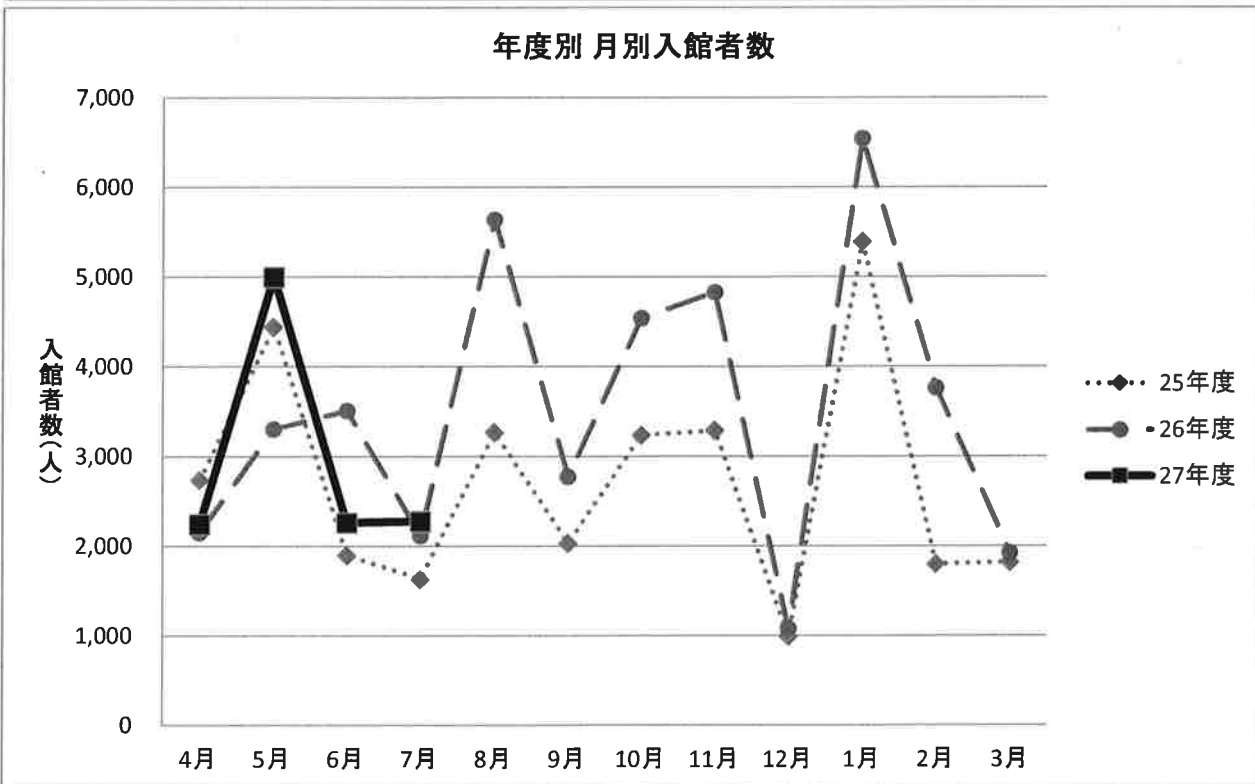
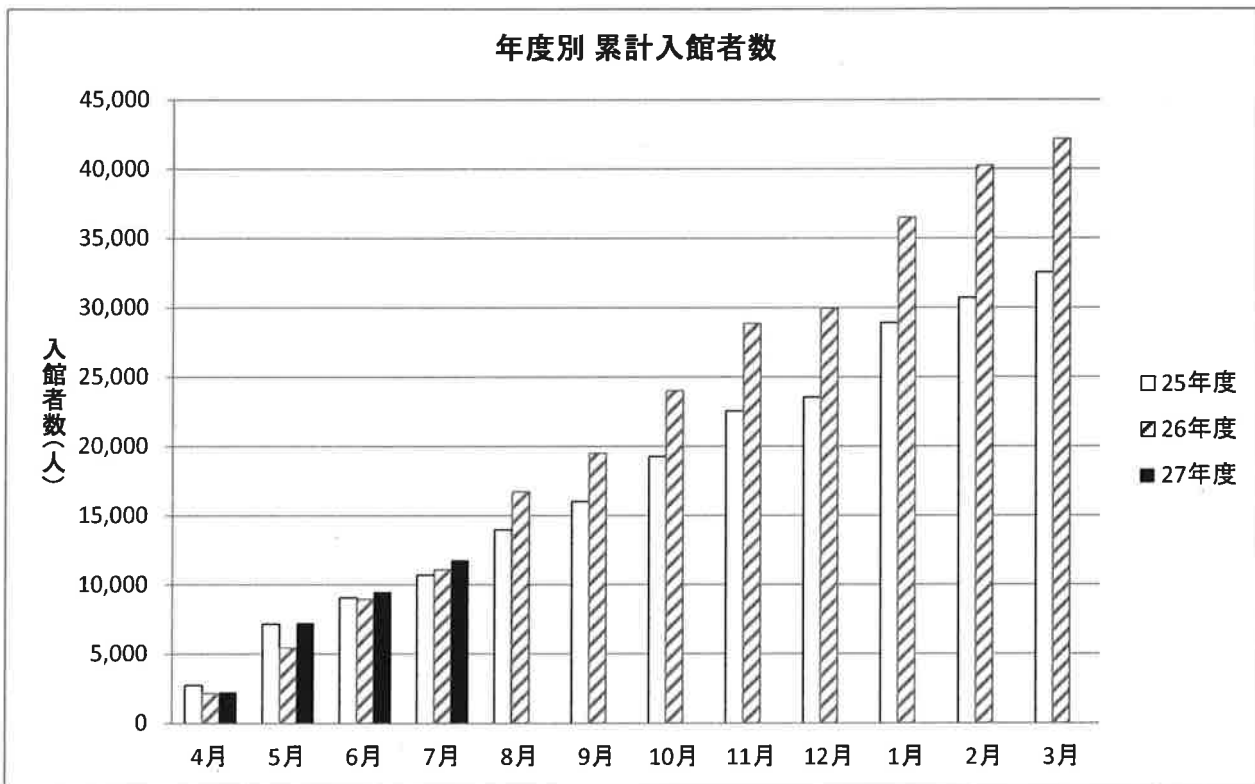
事業名	案内看板灯の多言語化
期間	平成27年6月～12月
概要等	外国人観光客の増加に対応し、料金表や館内案内、展示解説パネル等の多言語化を行う。

ウ 入館状況

月別入館者数

(単位:人)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計	7月末現在
25年度	2,737	4,444	1,898	1,639	3,268	2,033	3,238	3,288	994	5,390	1,800	1,822	32,551	10,718
26年度	2,151	3,306	3,510	2,119	5,643	2,776	4,542	4,832	1,082	6,548	3,767	1,926	42,202	11,086
27年度	2,244	5,003	2,262	2,277									11,786	11,786



岡山県立博物館 平成28年度展示計画(案)

☆広報テーマ

	第1室 (考古)	第2室 (歴史・美術)	第3室 (通史・特別陳列ほか)	第4室 (備前焼・刀剣・工芸)	オープン スペース	2階ホール
(3/23)～4/17 春季展(2) 22(26)日	古代吉備の世界 岡山県内出土の考古資料一	岡山の宗教美術～熊野信仰と修驗道 洛中洛外遊楽図屏風 ☆特別陳列「戦国武将の手紙」	岡山の歴史早わかりコーナー(通史) 人々の暮らしと占い～大国家文書の世界～	備前刀の歴史(新刀・新々刀) 備前焼の歴史	ちやぶ台の ある風景 桃の節供	
4/20～5/29 春季展(3) 35(40)日	古代吉備の世界 岡山県内出土の考古資料一	☆特別陳列「大坂の陣」 岡山の宗教美術 いろいろな絵図	岡山の歴史早わかりコーナー(通史) 洛中洛外図屏風	備前刀の歴史(名刀選) 備前焼の歴史	ちやぶ台の ある風景 端午の節供	
6/1～7/10 夏季展(1) 35(40)日	古代吉備の世界 岡山県内出土の考古資料一	岡山の荘園 岡山の宗教美術 いろいろな絵図	岡山の歴史早わかりコーナー(通史) ☆特別陳列「刀身彫刻の美」	備前刀の歴史(名刀選) 備前焼の歴史 撫川うちわ	ちやぶ台の ある風景	
7/14～9/4 夏季展(2) 46(53)日	古代吉備の世界 岡山県内出土の考古資料一	☆企画展「手しごと」	岡山の歴史早わかりコーナー(通史) 岡山の鉄道	備前刀の歴史(赤羽刀) 備前焼の歴史 撫川うちわ	ちやぶ台の ある風景	
9/9～10/23 特別展 39(45)日			☆特別展「カミとほとけの姿ー岡山の信仰文化とその背景ー」			
10/29～11/27 特別展・秋季展 26(30)日	東寺百合文書世界記憶遺産登録記念 ☆特別展「新見荘～中世荘園の記憶～」		岡山の歴史早わかりコーナー(通史) おかやま歴史人物事典「黒田陵山と門人達」	備前刀の歴史(赤羽刀) 備前焼の歴史	ちやぶ台の ある風景	
12/2～12/25 冬季展(1) 21(24)日	古代吉備の世界 岡山県内出土の考古資料一	江戸時代の医療 岡山の宗教美術 将軍の手紙	岡山の歴史早わかりコーナー(通史) ☆特別陳列「岡山の書家」	備前刀の歴史(奉納刀) 備前焼の歴史	ちやぶ台の ある風景	
1/1～1/15 冬季展(2) 13(15)日	古代吉備の世界 岡山県内出土の考古資料一	江戸時代の医療 岡山の宗教美術 将軍の手紙	岡山の歴史早わかりコーナー(通史) 岡山の書家	備前刀の歴史(奉納刀) 備前焼の歴史 ☆特別陳列「国宝赤韋威鎧」	ちやぶ台の ある風景	
1/19～2/26 交流展・冬季展(3) 34(39)日	古代吉備の世界 岡山県内出土の考古資料一	岡山・鳥取文化交流事業Ⅱ ☆交流展「とっとり弥生の王国」	岡山の歴史早わかりコーナー(通史) はじまりの物語～寺社縁起の世界観～	備前刀の歴史(戦国刀) 備前焼の歴史	ちやぶ台の ある風景 物語と民具	交流展 関連展示
3/2～3/26 春季展(1) 22(25)日	古代吉備の世界 岡山県内出土の考古資料一	岡山の宗教美術 おかやま人物事典「藤井高尚」	岡山の歴史早わかりコーナー(通史) ☆特別陳列「庭瀬藩主板倉家」	備前刀の歴史(戦国刀) 備前焼の歴史	ちやぶ台の ある風景	
3/29～(4/23) 春季展(2) 23(26)日	古代吉備の世界 岡山県内出土の考古資料一	岡山の宗教美術	岡山の歴史早わかりコーナー(通史) 庭瀬藩主板倉家	備前刀の歴史(新刀・新々刀) 備前焼の歴史	ちやぶ台の ある風景	

平成28年度事業計画

ア 展覧会

事業名	企画展「手しごと」(仮)
期間	平成28年7月14日(木)～9月4日(日)
趣旨	産業革命により、多くの製品が機械によって生産されてきたが、それ以前は、「手しごと」によって多く作り出されてきた。しかし、近年では、後継者不足や材料の入手困難等の問題によって失われつつある「手しごと」もある。今回は「あむ」「おる」「ひく」「ぬる」「かく」「すく」という6つの視点から、道具とともにこれらの「手しごと」を紹介することで、現代にも生きる私たちの生活を見つめるとともに、残された資料から生活の知恵を学ぶ機会とする。
主要展示資料	<ul style="list-style-type: none"> ・桐輪郭鳳凰紋様錦莞筵 三疊 大正時代 岡山県立博物館蔵 ・復元織機 昭和時代 岡山県立博物館蔵 ・麦稈真田製作工程 昭和時代 浅口市教育委員会蔵 ・郷原漆器製作道具一式 昭和時代 真庭市教育委員会 ・和紙製作道具一式 昭和時代 和気町歴史民俗資料館蔵
関連行事等	<p>①手しごとの実演</p> <ul style="list-style-type: none"> ・郷原漆器、麦稈真田、花ごぞ手織り <p>②学芸員による展示解説</p>
備考	入館料 大人 250 円、65 歳以上 120 円、高校生以下無料 (1室使用)

事業名	特別展「カミとほとけの姿 -岡山の信仰文化とその背景-」(仮)
期間	平成28年9月9日(金)～10月23日(日)
趣旨	<p>神仏習合の信仰の下、人々はカミやほとけの存在をより身近に感じ取るため、その姿を表現した像や絵画を拝んだ。慈しみの表情を示す仏像、カミとしての威厳にあふれた神像、幾百ものほとけが表現された密教絵画。これらカミとほとけの姿はどの時代においても、ゆるしといやしを願う人々の心性が表現されたものと言えるだろう。</p> <p>今回の展覧会では岡山に残されるカミとほとけの姿を表した彫像と絵画—宗教美術品—を展示する。関連する歴史資料・考古資料とあわせて、カミとほとけの姿から垣間見える岡山の信仰文化を紹介する。</p>
主要展示資料	<ul style="list-style-type: none"> 木造聖観音菩薩立像 平安時代 岡山市・明王寺蔵 木造聖観音菩薩坐像 平安時代 真庭市・明德寺蔵 木造薬師如来坐像 鎌倉時代 井原市・千手院蔵 他約 120 点
関連行事等	<p>①特別講座「カミとほとけの姿」 3 回開催</p> <p>②学芸員による展示解説</p>
備考	入館料 大人 650 円、65 歳以上 320 円、高校生 200 円、小人 100 円、5歳未満無料(4室使用)

事業名	特別展「新見荘～中世荘園庄園の記憶～」(仮)
期間	平成28年10月29日(土)～11月27日(日)
趣旨	国宝 東寺百合文書は、京都の東寺に伝えられた日本中世の古文書である。8世紀から18世紀までの約千年間の、およそ2万5千通に及ぶ膨大な量の古文書群であり、平成27年9月、ユネスコが主催する世界記憶遺産へ登録にされる予定である。本展覧会では、これを記念して、同文書群のうち新見荘に関係する文書を取り上げ、新見荘の事例を中心に荘園の世界を紹介する。
主要展示資料	<p>国宝 東寺百合文書 京都府立総合資料館蔵 のうち</p> <ul style="list-style-type: none"> ・たまかき書状并備中国新見庄代官祐清遺品注文 寛正4(1463)年 ・備中国新見庄三職連署注進状 寛正4(1463)年 <p>備中国足守荘図 嘉応元(1169)年 京都市 神護寺蔵</p> <p>備中国新見荘内検帳 寛正7(1466)年 国立歴史民俗博物館蔵 他</p>
関連行事等	<p>①記念講演会<第1回> 備中国新見荘の復元(仮)</p> <p>②記念講演会<第2回> 世界記憶遺産 東寺百合文書の世界(仮)</p> <p>③特別解説会</p> <p>④学芸員による展示解説</p>
備考	入館料 大人450円、65歳以上220円、高校生100円、小人80円、5歳未満無料(2室使用)

事業名	交流展 岡山・鳥取文化交流事業「とっとり弥生の王国—青谷上寺地遺跡と妻木晩田遺跡—」(仮)
期間	平成29年1月19日(木)～2月26日(日)
趣旨	平成27年度からはじまった岡山県と鳥取県の文化交流事業では、両県立博物館の連携による展覧会開催を通してネットワーク構築を進めている。2年目は、弥生時代の鳥取県について、地下の弥生博物館ともいわれる国史跡青谷上寺地遺跡と、国内最大級の弥生集落である国史跡妻木晩田遺跡の発掘調査成果を中心に紹介する。あわせて、同時期の吉備文化との比較を通して、両県の歴史遺産を活用した相互交流を一層促進する。
主要展示資料	<p>青谷上寺地遺跡出土品 弥生時代 鳥取県教育委員会蔵</p> <p>妻木晩田遺跡出土品 弥生時代 大山町教育委員会蔵</p>
関連行事等	<p>①記念講演会「鳥取弥生文化の研究最前線」(仮題)</p> <p>②ワークショップ 指導:鳥取県立むきばんだ史跡公園職員</p> <p>③ボランティアによる展示ガイド</p> <p>④学芸員による展示解説</p>
備考	入館料 大人250円、65歳以上120円、高校生以下無料(1室使用)

長期展示計画(案)

年度	企画展		特別展		交流展		交流展(他会場)	
	2室	4室	2室	4室	2室	4室	2室	4室
28 2016	手しごと		新見荘 ～中世荘園の記憶～	カミとほとけの姿 —岡山の信仰文化とそ の背景—	(中四国博物館ネットワーク構築事業) 岡山・鳥取文化交流事業 II 「とっとり弥生の王国」			
29 2017	江戸時代岡山の教育		虫明焼	備前刀 —日本刀の王者—	(中四国博物館ネットワーク構築事業) 鳥取の歴史と文化III 「鳥取藩の絵師」		「池田光政鳥取開府400 年」	
30 2018	瀬戸内源平合戦		岡山の戦国時代	百花繚乱 ～近世絵画の美と形～	(中四国博物館ネットワーク構築事業)		(中四国博物館ネットワーク構築事業)	(岡山の歴史と文化I)
31 2019	ほとけのひみつ		ヤマト王権と古備	岡山の医療	(中四国博物館ネットワーク構築事業)		(中四国博物館ネットワーク構築事業)	(岡山の歴史と文化II)
32 2020	岡山の絵馬		岡山の書	50周年記念	(中四国博物館ネットワーク構築事業)		(中四国博物館ネットワーク構 築事業)	(岡山の歴史と文化III)

中期目標の達成状況評価

- (1) 評価の時期 翌年度初めに実施
 (2) 評価者 館全体で評価
 (3) 評価区分 次の1～5段階で実施

評価区分	内 容
5	目標水準を大きく上回った。 140%以上
4	目標水準を上回った。 110%以上 140%未満
3	概ね目標水準である。 90%以上 110%未満
2	目標水準を下回った。 60%以上 90%未満
1	目標水準を大きく下回った。 60%未満

- (4) 結果の公表

評価結果は、「岡山県立博物館協議会」において報告するとともに、ホームページで公表します。

<参考> 博物館法第9条

博物館は、当該博物館の運営の状況について評価を行うとともに、その結果に基づき博物館の運営の改善を図るため必要な措置を講ずるよう努めなければならない。

平成26年度の評価

項 目	H22	H23	H24	H25	H26
1 資料の収集と保存・活用	3	2	2	3	3
2 調 査 ・ 研 究	3	2	3	3	3
3 施 設 の 整 備 ・ 管 理	2	2	3	3	3
4 展 示	2	2	3	2	3
5 教育普及・学校教育との連携	3	3	4	3	2
6 県民参加の協働運営	3	3	3	3	3
7 組 織 ・ 人 員	2	2	3	3	1
総 合 評 価	3	2	3	3	3

■教育普及・学校教育との連携 H25：3 → H26：2

- ・館内授業に訪れた学校数が大幅に減少した。

■組織・人員 H25：3 → H26：1

- ・毎年多くの学芸員が参加する、岡山県博物館協会の研修会が、展示替えの日と重なり1名しか参加できなかった。

評価結果を踏まえた今後の課題と施策への反映

- 1 博物館の教育支援活動を周知するため、全学校に紹介パンフレットを送付し広報に努める。
- 2 スケジュール調整を十分に行い、文化庁や各種団体の実施する研修会へ、積極的に学芸員を参加させる。

評価シート

目 標 項 目		評 価 指 標	中 期 目 標 値 (平成30年度)	平成26年度 実 施 結 果	評 価
1 資料の 収集と保 存・活用	資料の購入	資料の購入件数	必要に応じて予 算措置	0点/年	—
	寄付資料の受け入れ	新規寄付資料の受け 入れ件数	随時申し出に対 応	7件/年	—
	寄託資料の受け入れ	新規寄託資料の受け 入れ件数	随時申し出に対 応	31件/年	—
	資料の適切な保管	収蔵庫等の定期点検 回数	12回/年	12回/年	3
	展示室の資料保存環境 の点検	展示室等の定期点検 回数	50回/年	53回/年 水替え	3
	収蔵スペース確保の検 討	収蔵スペース確保の 検討 整理・整頓	随 時 4回/年	随 時 4回/年	3
	収蔵品の補修	収蔵資料の修復点数	2点/年	1点/年	1
	資料の活用	収蔵資料展示点数	2,000件/年	2,265件/年	3
	特別観覧利用件数	150件/年	97件/年	2	
平均評価					3
2 調査研 究	調査研究活動の強化	各学芸員の調査テー マの設定	6件/年 (各学芸員1テーマ)	6件/年 (各学芸員1テーマ)	3
	調査研究成果の公表	研究報告の発刊	1回/年	1回/年	3
		年報の発刊	1回/年	1回/年	3
		博物館だよりの発刊	1回/年	1回/年	3
		平常展、企画展、特別 展の開催	12回/年	11回/年	3
		博物館講座の開催	6回/年	6回/年	3
	外部研究機関等との連 携	共同研究テーマ数	2件/年	2件/年	3
平均評価					3

目 標 項 目		評 価 指 標	中 期 目 標 値 (平成30年度)	平成26年度 実 施 結 果	評 価
3 施設の 整備・管理	安全な施設の維持管理	施設改善5カ年計画 の策定	緊急性の高い事 案から着手	監視カメラ更新 空調監視盤更新 温湿度記録盤 更新	—
		耐震化への取組	耐震診断の実施	27年度実施予算 要求	—
	危機管理体制	来館者事故数	0件/年	0件/年	3
		防災訓練の実施	年2回開催	年2回開催	3
		安全衛生会議の開催	年3回開催	年3回開催	3
	利用環境の向上	入館者の満足度	90%以上	81%	3
平均評価					3
4 展 示	特 別 展	入館者数	18千人/年	12,633人/年	2
		実施回数	2回/年	2回/年	3
		中期計画策定	5カ年計画策定	5カ年計画策定	3
	企 画 展	入館者数	7千人/年	6,703人/年	3
		実施回数	1回/年	1回/年	3
		中期計画策定	5カ年計画策定	5カ年計画策定	3
	交 流 展	入館者数	7千人/年	5,760人/年	2
		実施回数	1回/年	1回/年	3
		中期計画策定	5カ年計画策定	5カ年計画策定	3
	平 常 展	入館者数	18千人/年	17,106人/年	3
特別陳列		1回/各季節展	1回/各季節展	3	
各展共通項目	関連事 業の充 実	記念講演会	1.5回以上/1展覧会	2.5回/1展覧会	5
		実演等	2.5回以上/1展覧会	0回/1展覧会	1
		展示解説	4回以上/1展覧会	5.75回/1展覧会	5
	展示方 法の改 善	キャプション 解説シート 英語・中国語・韓国語 表記	改 善 30枚 英語・中国語・ 韓国語表記	 24枚	 2
平均評価					3

目 標 項 目	評 価 指 標	中 期 目 標 値 (平成30年度)	平成26年度 実 施 結 果	評 価	
5 教育普及・学校教育との連携	吉備の国ジュニア歴史スクール	実施コース数 参加児童数	2コース3日/年 90人/年	2コース3日/年 70人/年	3 2
	博物館講座 ①スタンダードコース	開設講座数 参加受講者数	4講座(2班)/年 140人/年	4講座(2班)/年 108人/年	3 2
	博物館講座 ②スペシャルコース	開設講座数 参加受講者数	4講座/年 120人/年	4講座/年 72人/年	3 1
	体験学習 ①わくわく歴史体験ゾーン	参加体験型資料の充実	平成30年度末で 40点	23点	1
	館内授業	実施学校数 受講児童生徒数	50校/年 3,000人/年	27校/年 1,234人/年	1 1
	出前授業	実施学校数 受講児童生徒数	30校/年 2,000人/年	24校/年 1,768人/年	2 2
	展示解説	聴講者数	20人/1解説日	31人/1解説日	5
	博物館実習	受け入れ学生数	20人/年	10人/年	1
	中学生職場体験	受け入れ学校数	10校/年	10校/年	3
	教職員研修	連携事業の実施回数 免許外更新講習実施回数	5回/年 2回/年	5回/年 2回/年	3 3
	吉備の国文化遺産映像記録作成事業	作成テーマ数	30テーマ	30テーマ	3
	ジュニア学芸員講座	受入生徒数	20人/年	14人/年	2
	平均評価				2
6 県民参加の協働運営	広報活動	記者クラブへの資料提供件数	30件/年	26件/年	2
		マスコミ取材件数(新聞への掲載)	120件/年	154件/年	4
		広報手段の新規開拓	1件/年	1件/年	3
	アンケートの実施	アンケートの回収率	15%/年	9.2%/年	2
	ホームページの充実	HPアクセス数	200,000件/年	115,266件/年	1

目 標 項 目		評 価 指 標	中 期 目 標 値 (平成30年度)	平成26年度 実 施 結 果	評 価
		内容の更新頻度	週1回以上	月1回	1
岡山県立博物館友の会		友の会会員数	400人/年	319人/年	2
		会員の継続率	前年会員の90.0%	前年会員の78%	2
		友の会事業実施回数	40回以上	42回	3
		特別展等観覧者率	4.0%	2.6%	2
ボランティア受け入れ	展示解説ボランティア		11回/年 30人以上/年	8回/年 57人/年	2 5
	支援ボランティア		10回/年 30人以上/年	10回/年 50人/年	3 5
地域社会と協働の展覧会の開催	共催団体数		1展覧会2団体 以上	1展覧会 1.25団体	2
	連携博物館数		2博物館/年	3博物館/年	5
博物館協議会	協議会開催回数		2回/年	2回/年	3
老人福祉施設等との連携	連携施設数(館内への受入のみ)		2施設/年	0施設/年	1
平均評価					3
7 組織・人員	学芸員の資質向上	研修会等への参加人数	10人/年	2人/年	1
平均評価					1
総合評価					3

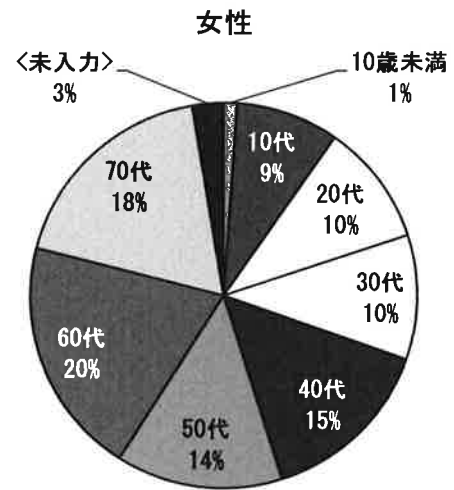
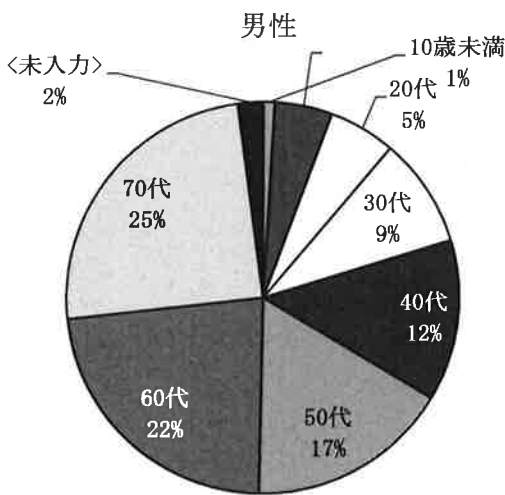
平成26年度 アンケート集計結果

◆アンケート回収率

展覧会名	会期	入館者数	アンケート数	回収率
春季展Ⅱ・Ⅲ	4/1~5/18	4,513	381	8.4%
特別展「山田方谷」	5/23~6/29	4,454	645	14.5%
夏季展	7/4~7/27	1,897	177	9.3%
企画展「岡山の城と戦国武将」	7/31~9/7	6,703	614	9.2%
秋季展	9/11~10/5	2,433	213	8.8%
特別展「護国山曹源寺」	10/10~11/16	8,179	799	9.8%
冬季展Ⅰ	11/21~1/12	5,443	168	3.1%
交流展「戦国大名 宇喜多氏と長宗我部氏」	1/16~2/15	5,760	642	11.1%
春季展Ⅰ・Ⅱ	2/19~3/31	2,820	275	9.8%
合計		42,202	3,914	9.3%

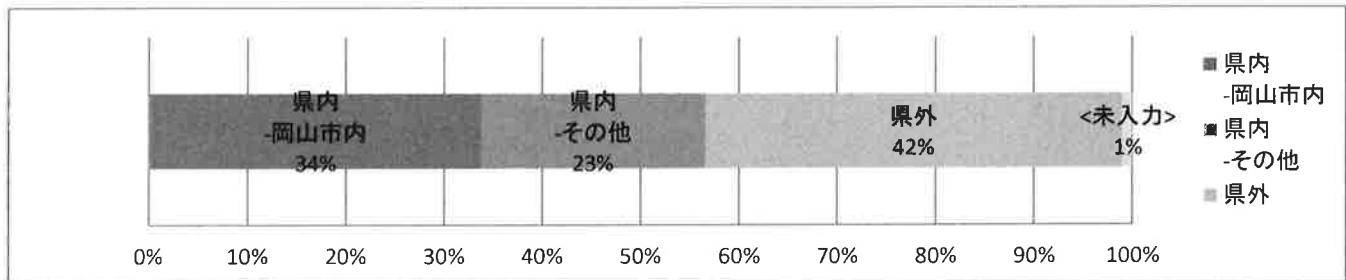
◆年齢構成

性別	10歳未満	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代	<未入力>	性別合計
男性	23	121	141	231	339	426	585	626	54	2,546
女性	15	118	140	143	201	191	273	251	36	1,368
合計	38	239	281	374	540	617	858	877	90	3,914



◆住所地一覧

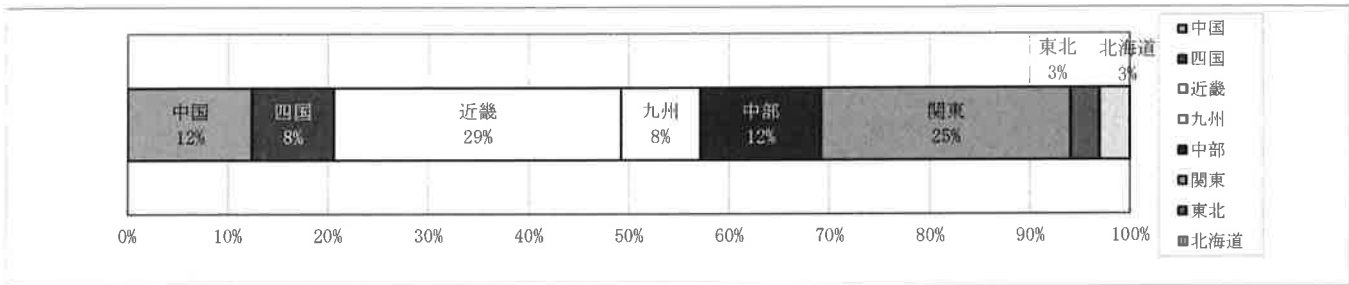
住所地	県内 -岡山市内	県内 -その他	県外・海外	<未入力>	合計
来館者数	1,490	1,039	1,333	53	3,915



◆県外地方別一覧

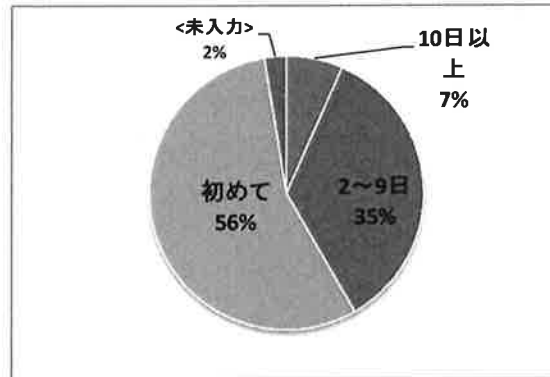
地方	中国	四国	近畿	九州	中部	関東	東北	北海道
来館者数	180	131	384	93	160	314	26	21

1309



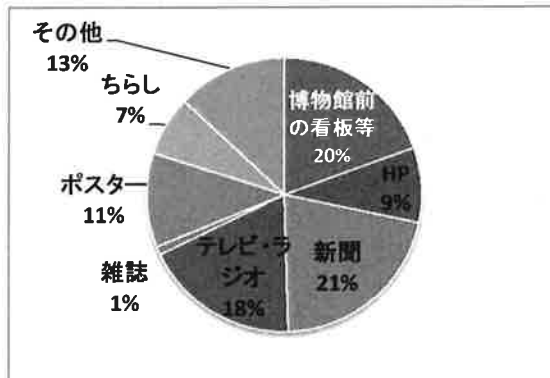
◆最近3年間の当館への来館日数

来館日数	回答数
10日以上	260
2~9日	1,372
初めて	2,180
<未入力>	102
計	3,914



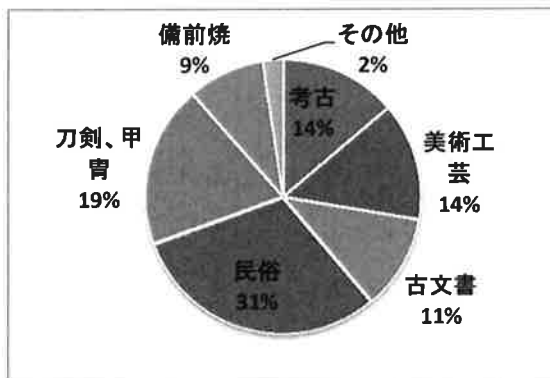
◆この展覧会を何で知ったか

広報媒体	回答数
博物館前の看板等	926
HP	421
新聞	1,007
テレビ・ラジオ	871
雑誌	47
ポスター	527
ちらし	336
その他	618
計	4,753



◆今後どのような展覧会を希望するか。

希望分野	回答数
考古	648
美術工芸	651
古文書	522
民俗	1,437
刀剣、甲冑	896
備前焼	424
その他	112
計	4,690



(希望する内容)

希望分野	
考古	農学の発展 吉井川の流域の考古 古墳に関連したもの 古代吉備の歴史 千足古墳(岡山市が管理)の説明資料 朝鮮との関わり 岡山県の山城関係 浦間茶臼山と、百枝月・小廻山銅鐸 岡山の古墳時代 岡山の化石、地質学など 酒器
美術工芸	明治の工芸 江戸時代の美術工芸品 中国地方出身の工芸家の作品展示 漆器類 武家の嫁入り道具。長着(打掛けとか)、ひな人形など 能文化など 岡山の工芸品 神楽面 絵(水墨画)に興味ある。(上手いとは思えないが、狩野永朝等) 仏像展(県内) 仏教芸術 ゼアミの展覧会が良かったので又よろしくおねがいします。 歴史に詳しくないのでわかりやすい、見て感動するものが良い 金工や螺鈿・蒔絵の工芸品が見たいです。 備前の古い細工物
古文書	社会貢献された人、国境の変化など 村絵図関係 話題性のある古文書の展示を希望します NHK大河ドラマに関するものがよい 古文書を通して戦国武将の性格を知りたいのでそういう企画があるとよい。 林原の石谷家文書のその後が知りたい 岡山の寺社に保存されている貴重な物品を順に見てみたいです 素人にもよく分かる解説をお願いします(文書の意義)発見のエピソードが見られると嬉しい です 今回のように古文書(新出、初公開など)に関連して、その人物の背景、遺物などをリンクさ せていけば多くの人の関心を引き出せるだろうと思います。
民俗	昭和時代展 岡山県内の鉄道の発展と未来を考える展示 岡山県内の古い習俗を地域を明らかにして取り上げる 岡山の茶文化 以前(かなり前ですが)あったような妖怪に関するものなど・・・
刀剣、甲冑	模型をもっとふやしたり、刀と同じ重さの物をもてるコーナーをふやしてほしい 備中松山城の甲冑が見たかった 岡山にゆかりのある武将に関するもの 三国志にでてくる劉備玄德、張飛翼徳、諸葛亮孔明の人たちを出してほしい。 村正、虎徹、長政、菊一、正宗があればなおよし 甲冑の背面も見えるように展示してほしい 鉄銃、火なわ銃 毛利元就、石田三成などの武将についてのものをやってほしいです。
備前焼	備前焼 県内の焼物展(備前焼を含む)
その他	地元の人をクローズアップしてほしい。 ただ物が並べられているのではなくコンセプトがわかるようにしてほしいです。 岡山の交通の歴史など(岡山は中四国の交通の拠点です) 岡山の歴史、岡山城とその近辺を含んだストーリーを考慮したもの 赤松VS浦上VS三村VS宇喜多VS毛利 やりましようよ 水利、治水などの資料類の展示(私が知る限り、いまだ企画展示されたようにありません。 出来れば一度この分野の企画をお願いするものです。) 体験できるようなもの 明治維新前後の歴史、人物etc 岡山の古戦場に関するもの(明善寺合戦、高松城水攻め、藤戸合戦、水島合戦等) 岡山といえば宇喜多氏、池田氏しか出てこない。二氏以外の方ももっと取り上げるべきで す。例えば、備前を200年余り支配した松田氏など。 郷土の歴史に光をあてる内容のものをお願いします 和氣清麻呂など

◆その他、展覧会や施設などについて気づいたことは。

<展示関係>

- ・施設に限界がある中でがんばっていると思います。
- ・若い人にもっと受けてもらえるように工夫していく必要がある
- ・同県人の方も他にもおられるのでより多くの人に知ってもらえる様に取上げてPRしてほしい
- ・学芸員の説明を増やしてゆけば理解がよりすすむのではないのでしょうか
- ・楽しみにしておりましたが図録が売切れとはかえすがえすも残念です。※売り切れに対する不満意見多数
- ・説明パネルが小さく、文字も小さいために読みにくい。自分は目が悪いので、読みやすい工夫してほしい
- ・安価でとても興味深いものが見れて満足しました
- ・もっと多面的にすっきりしたのを見たいです。
滋賀県立琵琶湖博物館みたいなもの・・・持っている資料をもっと生かした展示が見たいです。
- ・武将の画の説明文が 画の下にあり読みにくかった。(しゃがまなければ読めない)
もう少し高い位置にあればよいと思う
- ・今後も県立にふさわしく、県内に寺院・寺社の展示を続けてください。後楽園入口の向いという立地を利用して他県へもアピールを！！
- ・一階部分はもう少し子供向きの展示の仕方でもないかと思えます。私自身は子供に迎合した展示は好きではないのですが、各地の博物館を歴訪しますとウケがよいのは内容が易しめの図示を多用したもののようです。
- ・ボランティアの方の説明でよく分った、という意見が多数ある一方、ボランティアの方の一部、展示資料のど真ん中で長くお話しされると展示品がみえません。少し配慮いただきたい等というボランティアガイドに対する不満意見もあり
- ・トイレ)結露がすごく、床もかべもびちょびちょ(2F)※結露に関しては「滑って転びそうで危ない」といった意見多数

<施設関係>

- ・展示ケース内の乾燥剤の表装を目立たせないデザインにしたほうがいい
- ・順路が分かりづらい。
- ・もう少し明るくてもよいのでは※他にも「暗くて見えにくい」という類似意見多数
- ・モバイルSPOTがありがたかった。
- ・イスが多く休みながらゆっくり見学できました。
- ・DVD大画面で見たいです
- ・清掃もいき届き気持ち良く見ることができました。

<その他>

- ・HPで料金の確認をしようとしたところ、特別展は別料金といったことが書かれていましたが、今、この展示はいくらかというのがわかりにくかったです
- ・仏頂面。笑顔とまでは言わないが、もう少し柔和な顔をしてほしい。
- ・大変丁寧に対応して下さって良かったです
- ・シニア割引が良い。他県特別展では自分の県のみ割引だとセコイやり方が増えている。経営上売上が大切かもしれないがシニアが出向いてくる姿勢、文化を育ててくれないか。隣近所に経済効果が出ているのではないか。(ほんの少しで申し訳ないが)
- ・外国人用に英語の説明文があればいいかと。
- ・声の大きい人がいたのを注意してくれて良かったという声多数

岡山県立博物館協議会委員

任期2年（平成27年2月5日～平成29年2月4日）

平成27年7月現在

番号	氏名	区分	現職	就任年月	備考
1	森 寺 勝 之	学校教育関係者	吉備中央町立吉備高原小学校長	H26.7	
2	小 田 洋 子	"	備前市立吉永中学校教頭	H27.2	
3	松 下 晶 子	"	岡山県立笠岡高等学校長	H25.7	
4	丸 池 宣 子	社会教育関係者	岡山県婦人協議会理事	H25.2	
5	岡 本 啓	"	岡山県生涯学習センター所長	H25.7	会 長
6	延 江 典 子	"	岡山県青年団協議会副会長	H25.2	
7	宇 野 均 恵	家庭教育関係者	NPO法人子ども劇場笠岡センター理事長	H21.2	
8	長 江 真理子	"	NPO法人みる・あそぶ・そだつ津山子ども広場 代表理事	H21.2	
9	岡 本 隆 明	学識経験者	(株)山方永寿堂代表取締役社長	H23.2	
10	藤 實 久美子	"	ノートルダム清心女子大学文学部 現代社会学科教授	H23.2	副会長
11	光 本 順	"	岡山大学大学院社会文化科学研究科准教授	H26.7	
12	吉 本 正 志 (号) 正	"	日本工芸会中国支部幹事長	H23.2	
13	井 戸 恒 雄	"	山陽放送(株) 総務局総務参事	H27.2	
14	清 水 玲 子	"	(株)山陽新聞社編集局文化部長	H26.7	
15	鳥 井 良 輔	"	岡山県議会議員	H27.7	新任

岡山県立博物館協議会条例

〔昭和46年6月25日〕
〔岡山県条例第47号〕

(設置)

第1条 岡山県立博物館の運営に関し館長の諮問に応ずるとともに、館長に対して意見を述べる機関として、岡山県立博物館に岡山県立博物館協議会（以下「協議会」という。）を置く。

(委員の任命の基準)

第2条 協議会の委員（以下「委員」という。）は、学校教育及び社会教育の関係者、家庭教育の向上に資する活動を行う者並びに学識経験のある者のうちから、教育委員会が任命する。

(委員の定数)

第3条 委員の定数は、20人以内とする。

(委員の任期)

第4条 委員の任期は、2年とする。ただし、補欠の委員の任期は、前任者の残任期間とする。

2 委員は、再任されることができる。

(その他)

第5条 この条例に定めるもののほか、協議会の運営について必要な事項は、教育委員会規則で定める。

附 則

(施行期日)

1 この条例は、昭和46年7月1日から施行する。

2 (略)

岡山県立博物館協議会運営規則

〔昭和46年7月1日〕
〔岡山県教育委員会規則第13号〕

(趣旨)

第1条 この規則は、岡山県立博物館協議会条例（昭和46年岡山県条例第47号）第5条の規定に基づき、岡山県立博物館協議会（以下「協議会」という。）の運営に関し必要な事項を定めるものとする。

(議長及び副議長)

第2条 協議会の会議（以下「会議」という。）に、議長及び副議長を置く。

2 議長及び副議長は、岡山県立博物館協議会の委員（以下「委員」という。）の互選により定める。

3 議長及び副議長の任期は、委員としての在任期間とする。

4 議長は、会議を主宰する。議長に事故のあるときは、副議長がその職務を代行する。

(招集)

第3条 会議は、岡山県立博物館長が招集する。

2 会議の招集は、会議開催の場所、日時及び会議に付すべき案件をあらかじめ各委員に通知して行なう。ただし、緊急の場合は、この限りでない。

(定足数及び表決)

第4条 会議は、委員の過半数以上が出席しなければ開くことができない。

2 会議の議事は、出席委員の過半数で決し、可否同数のときは、議長の決するところによる。

(職員の説明及び資料の提出)

第5条 委員は、会議において関係職員に対して、説明又は資料の提出を求めることができる。

(職員の出席)

第6条 関係職員は、会議に出席して意見を述べることができる。

(その他)

第7条 この規則に定めるもののほか、協議会の運営に関し必要な事項は協議会が別に定める。

附 則

(施行期日)

この規則は、公布の日から施行する。

職 員 一 覧

教育委員会事務局

職 名	氏 名	備 考
文化財課長	山田寛人	

岡山県立博物館職員

職 名	氏 名	備 考
館 長	谷 名 隆 治	
副 館 長	三 宅 克 広	
総 括 参 事	片 山 明 浩	(総務課長事務取扱)
総 務 課	主 任	瀧 元 弘 美
	主 任	友 定 治 道
	主 事	小 島 宣 枝
学 芸 課	学 芸 課 長	竹 原 伸 之
	主 幹	内 池 英 樹
	学芸員(主幹)	佐 藤 寛 介
	学芸員(主任)	重 根 弘 和
	学芸員(主任)	和 田 剛
	学芸員(主任)	野 田 繭 子